第 64 期

中 間 報 告 書

製品名：砂岩風平板ブロックー来待石近似色　段差抑制工法（ＪＳ工法）
（ＪＲ境港駅・水木しげるロード(鳥取県境港市)）

日本興業株式会社

株　主　の　皆　様　へ

代表取締役社長

多田綾夫

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このほど本年４月１日から９月 30 日までの当社グループ第 64 期第２四半期の営業概況がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月

四半期連結貸借対照表

当第２四半期連結会計期間末

《平成 30 年９月 30 日現在》

単位 千円（単位未満切捨）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
【流動資産】	5,729,461	【流動負債】	5,610,472
現金及び預金	1,056,503	支払手形及び買掛金	1,150,891
受取手形及び売掛金	2,550,183	電子記録債務	567,567
電子記録債権	433,491	短期借入金	3,294,246
商品及び製品	1,271,836	未払法人税等	30,549
仕掛品	114,063	未払消費税等	26,296
未成工事支出金	23,389	未払費用	155,938
原材料及び貯蔵品	224,038	賞与引当金	100,892
その他	57,515	その他	284,090
貸倒引当金	△ 1,560	【固定負債】	1,133,529
【固定資産】	7,309,025	長期借入金	936,170
有形固定資産	6,374,092	その他	197,359
建物及び構築物（純額）	1,501,019	負債合計	6,744,001
土地	4,545,923	（純資産の部）	
その他（純額）	777,150	【株主資本】	6,033,671
無形固定資産	199,939	資本金	2,019,800
投資その他の資産	734,993	資本剰余金	2,016,609
投資有価証券	559,125	利益剰余金	2,088,210
退職給付に係る資産	58,052	自己株式	△ 90,948
繰延税金資産	42,190	【その他の包括利益累計額】	239,206
その他	85,340	その他有価証券評価差額金	191,673
貸倒引当金	△ 9,714	退職給付に係る調整累計額	47,532
		【非支配株主持分】	21,606
		純資産合計	6,294,484
資産合計	13,038,486	負債純資産合計	13,038,486

四半期連結損益計算書

当第２四半期連結累計期間
《平成 30 年４月１日から平成 30 年９月 30 日まで》

単位　千円（単位未満切捨）

科目	金額	
売上高		**4,537,346**
売上原価		3,711,436
売上総利益		**825,910**
販売費及び一般管理費		956,414
営業損失（△）		**△ 130,504**
営業外収益		
受取配当金	7,152	
受取賃貸料	12,480	
工業所有権実施許諾料	1,986	
物品売却益	9,334	
雑収入	5,951	36,906
営業外費用		
支払利息	10,270	
賃貸費用	2,557	
雑損失	1,854	14,683
経常損失（△）		**△ 108,281**
特別利益		
国庫補助金		1,500
特別損失		
固定資産除却損	5,508	
固定資産圧縮損	1,500	7,008
税金等調整前四半期純損失（△）		**△ 113,790**
法人税、住民税及び事業税	16,187	
法人税等調整額	△ 40,985	△ 24,798
四半期純損失（△）		**△ 88,992**
非支配株主に帰属する四半期純利益		**332**
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）		**△ 89,324**

四半期連結包括利益計算書

当第２四半期連結累計期間
《平成 30 年４月１日から平成 30 年９月 30 日まで》

単位　千円（単位未満切捨）

科目	金額
四半期純損失（△）	**△ 88,992**
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△ 25,457
退職給付に係る調整額	△ 5,458
その他の包括利益合計	**△ 30,915**
四半期包括利益	**△ 119,907**
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 120,240
非支配株主に係る四半期包括利益	332

ハイライト情報

連結経営指標等

単位 千円（単位未満切捨）

回　　次	第63期 第2四半期 連結累計期間	第64期 第2四半期 連結累計期間	第63期
会計期間	自　平成29年 4月 1日 至　平成29年 9月30日	自　平成30年 4月 1日 至　平成30年 9月30日	自　平成29年 4月 1日 至　平成30年 3月31日
売上高	5,221,178	4,537,346	12,272,610
うち　土木資材事業売上	3,365,573	2,760,434	7,510,338
うち　景観資材事業売上	1,254,784	1,183,206	3,561,830
うち　エクステリア事業売上	600,820	593,706	1,200,441
経常利益又は経常損失（△）	△ 116,667	△ 108,281	263,281
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）又は親会社株主に帰属する当期純利益	△ 95,869	△ 89,324	147,099
純資産額	6,180,930	6,294,484	6,473,877
総資産額	13,601,048	13,038,486	14,904,395
１株当たり純資産額（円）	2,126.79	2,165.88	2,227.39
１株当たり四半期純損失金額（△）又は１株当たり当期純利益金額（円）	△ 33.10	△ 30.84	50.79
自己資本比率（%）	45.3	48.1	43.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	582,981	617,710	363,112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 177,365	△ 56,793	△ 229,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 395,323	△ 616,128	△ 150,487
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	1,139,172	1,056,503	1,111,714
従業員数（名）	329	348	333

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度（第63期）の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり四半期純損失金額（△）および1株当たり当期純利益金額を算定しております。

事業紹介

当社グループはコンクリート二次製品の製造・販売を通じて「美しく豊かな環境作りに貢献する」ことを経営理念としており、「環境との共生」、「景観との調和」をキーワードに、土木資材事業、景観資材事業、エクステリア事業の３事業を展開しております。

土木資材事業　【環境との共生】

道路、河川、下水、宅地造成などにおける各種土木製品の開発、生態系を含めた環境製品開発、景観、緑化と融合した製品開発はもとより、防災・耐震性を考慮した製品開発へと展開しております。

製品名：車両用剛性防護柵【ＲＳガードフェンス】（国道 56 号片坂ﾊﾞｲﾊﾟｽ（高知県四万十町））

【第２四半期連結累計期間の状況】

四国地区において大型民間物件の受注に伴い、ボックスカルバートや水路製品などが売上を伸ばしたものの、前年同期の売上に寄与した公共工事の大型物件や繰延物件が減少したことや、本年７月の西日本豪雨の影響により工事の遅延などが生じたことから、当セグメントの売上高は 27 億 60 百万円（前年同期比 18.0%減）となりました。

景観資材事業　【人にやさしい環境】

公園、ニュータウン、各種公共施設などに、舗装材を中心とする水平展開から、ファニチュアの垂直展開まで幅広く製品をコーディネートし、提供しております。
人と自然にやさしい空間づくりの提案、共感の得られる環境製品の提供と、次世代まで引き継がれる豊かな公共空間の創造に努めております。

製品名：デザインペイブ【テセラ、ピアンタ】（大手前通り(兵庫県姫路市)）

【第２四半期連結累計期間の状況】

高付加価値製品の拡販に注力した結果、特に関東地区において駅前広場の再開発や東京オリンピック・パラリンピック関連の物件が進捗し始めたことで、主力のバリアフリータイプを始め、透水・保水タイプや遮熱性に優れた舗装材などが堅調に推移したものの、第１四半期の苦戦を挽回するには至らず、当セグメントの売上高は 11 億 83 百万円（前年同期比 5.7%減）となりました。

エクステリア事業　【快適空間】

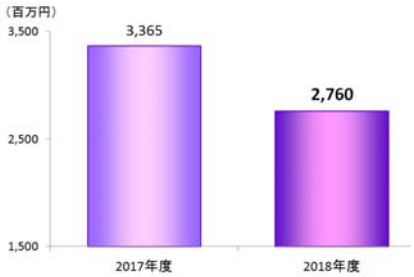
街並みに調和する外構づくり。
個性を演出するエクステリア。
個人住宅から店舗用製品まで幅広いジャンルで製品を提供し、ガーデニング関連、ペット関連等新たなテーマを掲げ、快適な空間づくりを追求しております。

製品名：ASOBIBASE シリーズ【ファンクションポール】

【第２四半期連結累計期間の状況】

品揃えを図りハウスメーカーへの拡販を推進した結果、主力製品の立水栓を始めとするガーデン関連製品が堅調に推移した一方で、積み材製品に代わるオープン外構製品へのラインナップ強化と拡販にも努めたものの、当セグメントの売上高は５億 93 百万円（前年同期比 1.2%減）となりました。

セグメント別売上高の推移（第２四半期連結累計期間）

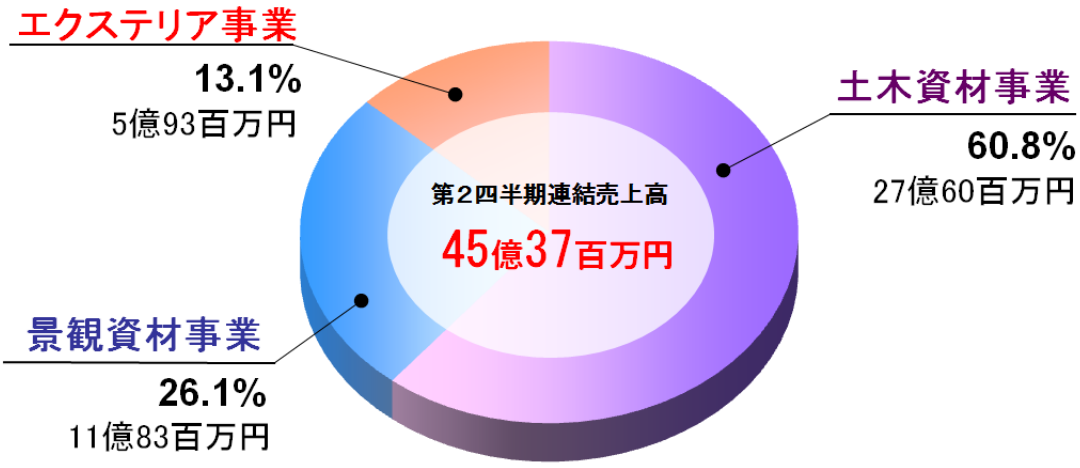


【土木資材事業】

【景観資材事業】

【エクステリア事業】

セグメント別売上高の構成（第２四半期連結累計期間）



株式の状況

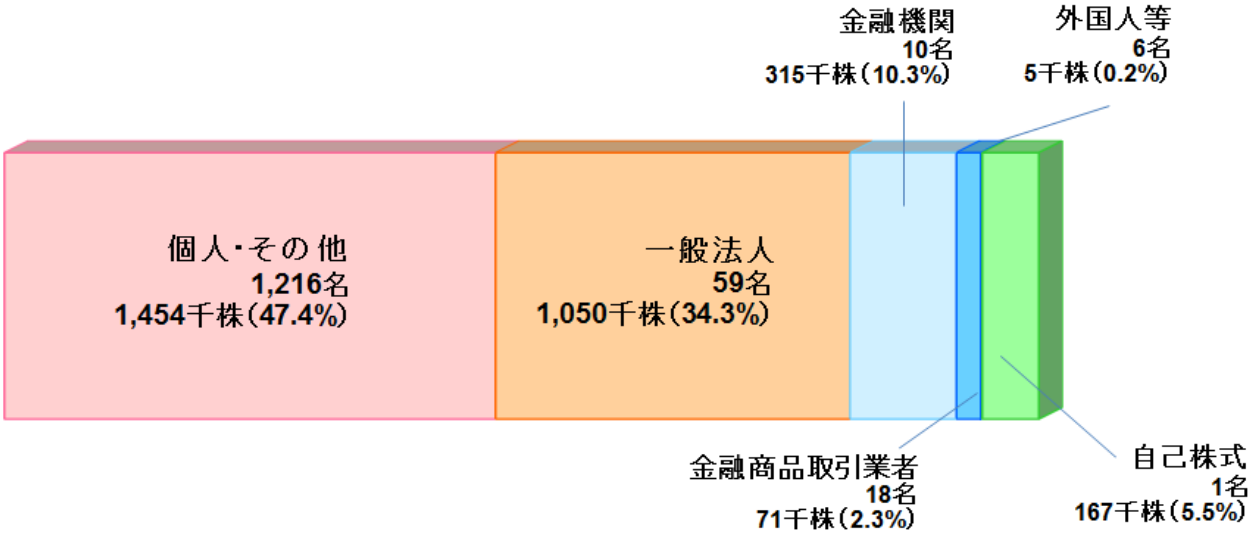
《平成 30 年９月 30 日現在》

発行可能株式総数	7,200,000 株
発行済株式総数	3,064,200 株 （自己株式 167,968 株を含む）
株主数	1,310 名

◆ 大株主

株主名	持株数（千株）
積水樹脂株式会社	690
ニッコー共栄会	311
ニッコー持株会	133
宇部興産株式会社	111
株式会社伊予銀行	78
アサノ産業株式会社	72
中山　盛雄	67
株式会社香川銀行	52
株式会社商工組合中央金庫	43
住友生命保険相互会社	41

◆ 所有者別分布状況



会社概要

《平成 30 年９月 30 日現在》

社名	……	日本興業株式会社
本店	……	香川県さぬき市志度 4614 番地 13 電話 087-894-8130（代表）
ホームページ	……	http://www.nihon－kogyo.co.jp
設立	……	昭和 31 年(1956 年)８月 10 日
資本金	……	2,019,800,000 円
従業員数	……	267 名

役　　員

《平成 30 年９月 30 日現在》

《取締役・監査役》

代表取締役社長 兼 社長執行役員	多田綾夫
取締役会長	武田　均
社外取締役	仙頭靖夫
社外取締役	藤原祐司
取締役 兼 常務執行役員	藤田　諭
取締役 兼 執行役員	山口芳美
取締役 兼 執行役員	田中澄夫
常勤監査役	川人秀昭
社外監査役	妹尾　隆
社外監査役	新名　均

《執行役員》

常務執行役員	三輪武志	執行役員	金子弘朗
執行役員	乗松伴成	執行役員	太田孝明
執行役員	久保　淳	執行役員	山田雅宏
執行役員	佐藤栄作	執行役員	藤田　学

株主メモ

事　業　年　度	毎年４月１日から翌年３月 31 日まで
基　準　日	定時株主総会・・・・・　３月 31 日 剰余金の配当・・・・・期末　３月 31 日 中間　９月 30 日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番５号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
連　絡　先	〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目６番３号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話 0120-094-777（通話料無料）
公　告　方　法	電子公告 当社ホームページにて掲載 http://www.nihon-kogyo.co.jp/koukoku.html
単　元　株　式　数	100 株

（ご注意）

１．株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

２．特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。

３．未受領の配当金につきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行本支店でお支払いいたします。